

参考資料

1	上位・関連計画	113
2	本市の現況	121
3	拠点カルテ	149
4	災害ハザード情報等の整理、収集	158
5	災害リスク分析	165
6	コミュニティ拠点の検討	177
7	石岡市立地適正化計画の策定・改定経緯	190

参考資料

1 上位・関連計画

(1) 石岡市総合計画 基本構想 (2022 (令和4) 年3月)

<将来像>

誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市

<基本目標>

基本理念：「安全・安心」 「魅力・発信」 「対話・学び」

SDGs 共通テーマ：

- ・人口減少・少子高齢化・関係人口増加への対策
- ・協働によるまちづくりの推進
- ・情報通信技術の活用

将来像

誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市

基本理念

「安全・安心」 「魅力・発信」 「対話・学び」

SDGs共通テーマ



人口減少対策
少子高齢化対策
関係人口増加への
対策



協働による
まちづくりの推進



情報通信技術の
活用

輝く「魅力向上」分野

政策目標1 情報発信
政策目標2 歴史・観光

輝く「まち」分野

政策目標3 安全・安心
政策目標4 都市基盤・環境

輝く「ひと」分野

政策目標5 健康・福祉
政策目標6 子育て・教育・学び

輝く「暮らし」分野

政策目標7 産業・経済
政策目標8 地域・文化

政策目標9 チャレンジする市役所 (行財政改革大綱)

(2) 石岡市総合計画 第2期基本計画 (2024 (令和6) 年3月)

<市の方針>

共生、共育、共働

<政策目標4：都市基盤・環境>

— 歴史ある都市、田園、里山が調和する魅力的なまち —

<基本施策2：都市機能の集約化>

【あるべき将来の姿】

都市機能の集約化により「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちとなることで、人口減少下でも接続可能なまちとなっています。

【成果指標】

居住誘導区域の人口密度

- ・基準値 (平成27年度) 26.5 人/ha
- ・実績値 (令和2年度) 26.2 人/ha
- ・目標値 (令和20年度) 26.5 人/ha

【主要な取組み】

- ・「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくり推進

石岡市立地適正化計画に基づき、人口減少下でも接続可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくりを推進します。

- ・市街地の魅力向上

まちなかの居住環境の充実を図るため、市街地を中心に、都市機能施設の維持・充実や質の向上による魅力あるまちづくりを目指します。

- ・都市部と田園空間との連携

都市部と田園空間との連携・機能分担により魅力あるまちづくりを目指します。



(3) 石岡都市計画区域マスタープラン（2021（令和3）年9月）

<地域ごとの市街地像>

◆石岡市街地地域

本地域においては、国分寺跡や国分尼寺跡などの歴史的資源を活かしたまちづくりを進めるとともに、商業・業務・居住・娯楽など複合的な機能が集積した本区域の中心となる市街地の形成を図る。

本地域の玄関口である石岡駅周辺は、市役所の建て替えに伴う機能強化や、積極的な商業・業務機能等の集積によるコンパクトでにぎわいと活力のある都市拠点の形成を図る。特に、石岡駅の西側は、「生活支援機能が享受でき、快適で安心して暮らせるまちづくり」「個性的な商業の活性化に加え、歴史的資産を活かした、様々な人々が行き交うまちづくり」を基本方針とした中心市街地の活性化を進める。

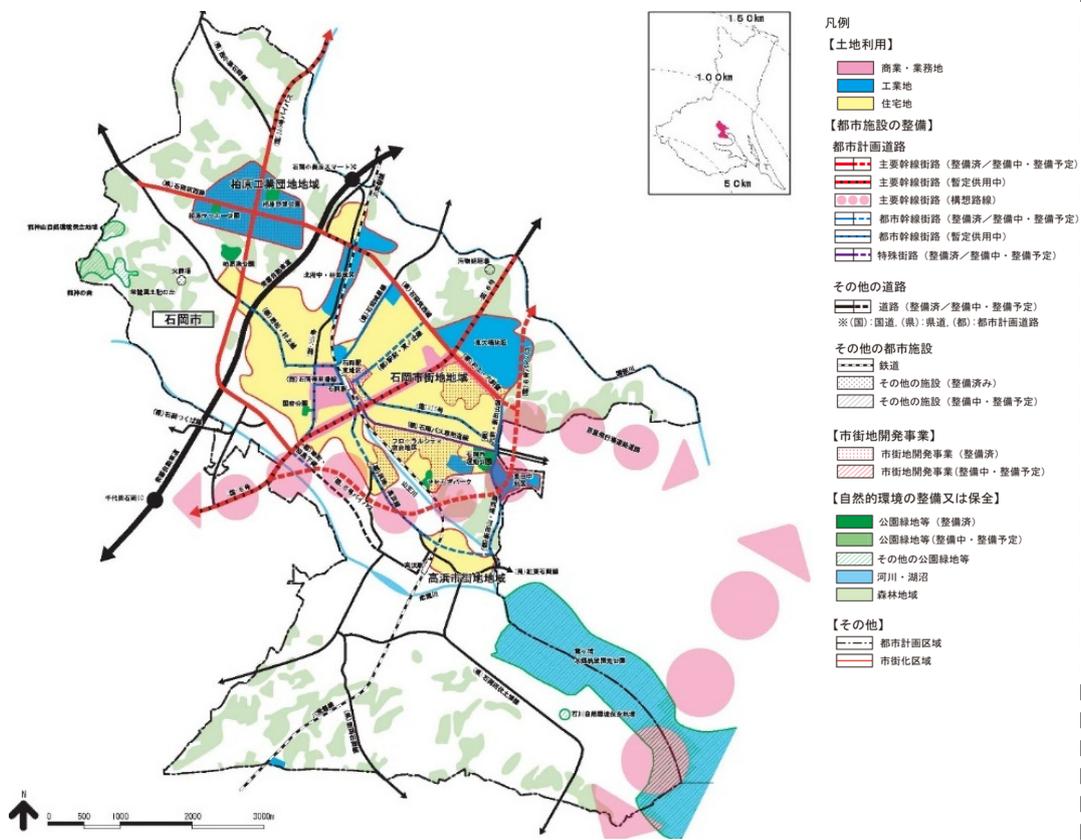
また、フローラルシティ南台地区等の土地区画整理事業が完了している地区においては、緑豊かな居住環境の維持・向上に努める。

さらに、東大橋地区や東田中地区などの工業地においては、国道6号バイパスの整備効果や茨城空港の開港の効果等をいかし、活力のある産業拠点の形成を図る。

◆高浜市街地地域

本地域においては、道路等都市基盤の整備などを進め、通過交通の市街地流入の減少を図りながら、旧来より残されてきた土蔵や商家等の歴史的な町並みや周辺の自然環境を活かした特徴のあるまちづくりを進める。

また、高浜駅周辺においては、駅の利便性や駅へのアクセス性の向上を図りながら、地域を対象とした生活利便施設等の集積を進めるなど生活拠点としての機能強化を図る。



図：石岡都市計画区域マスタープラン附図

(4) 八郷都市計画区域マスタープラン (2021 (令和3) 年9月)

<地域ごとの市街地像>

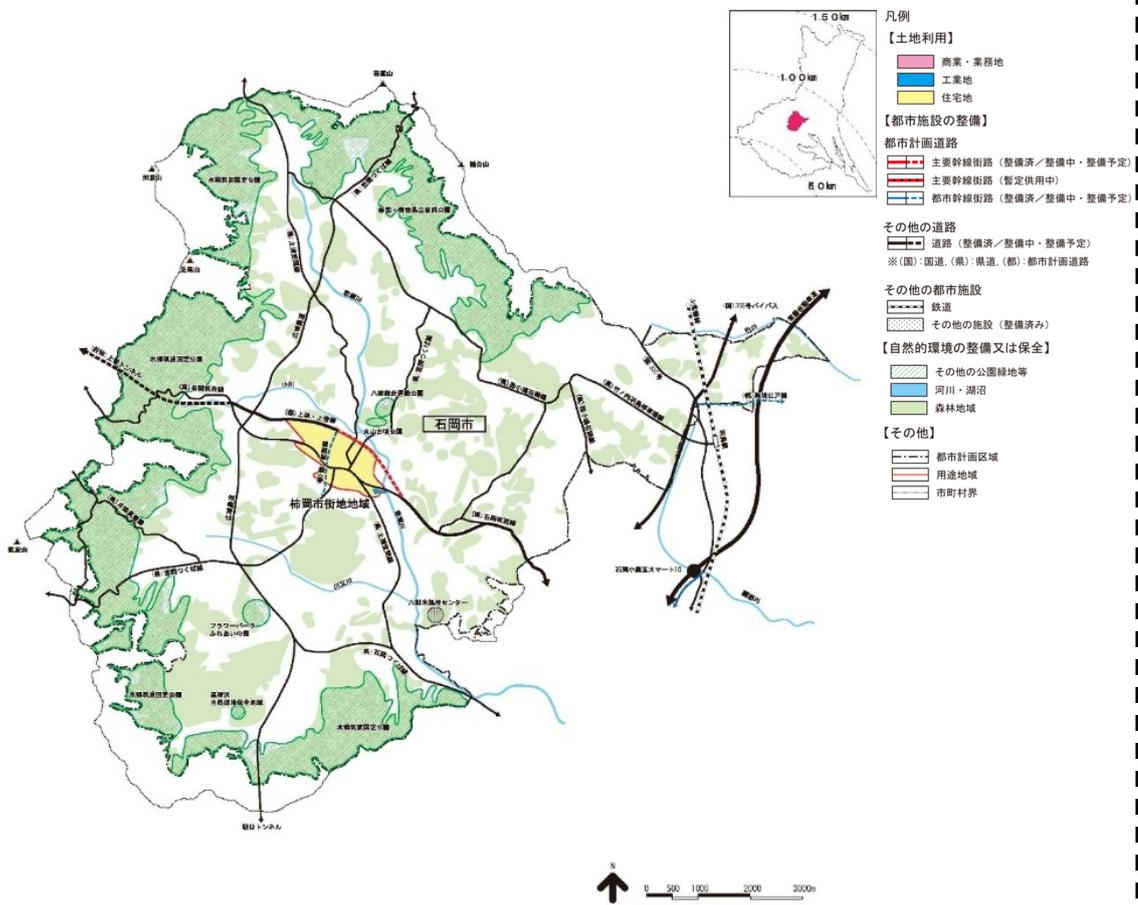
◆柿岡市街地地域

県道石岡筑西線沿道及び市役所の八郷総合支所周辺においては、旧来より生活拠点地区として公共施設や店舗・業務施設等が集積していることから、地域に密着した日常の生活拠点として活性化を図る。

特に、幹線道路の交通環境の改善を図るため、都市計画道路上林・上曽線などの整備を促進するとともに、県道石岡筑西線沿道や都市計画道路上林・上曽線沿道においては、商業・業務施設や公共施設の集積を進め、魅力ある市街地の形成を図る。

また、市街地内の住宅地は、道路や下水道などの都市基盤施設の整備を進めるとともに用途の純化や不燃化の促進などに努め、居住環境の向上を図る。

さらに、市街地内に点在するまとまりのある未利用地においては、市街地開発事業等の活用を検討し、良好な住宅地の形成を図る。



図：八郷都市計画区域マスタープラン附図

(5) 石岡市都市計画マスタープラン (2017 (平成 29) 年 3 月)

<将来都市像>

- ・ 自然・歴史が息づく コンパクトシティ いしおか

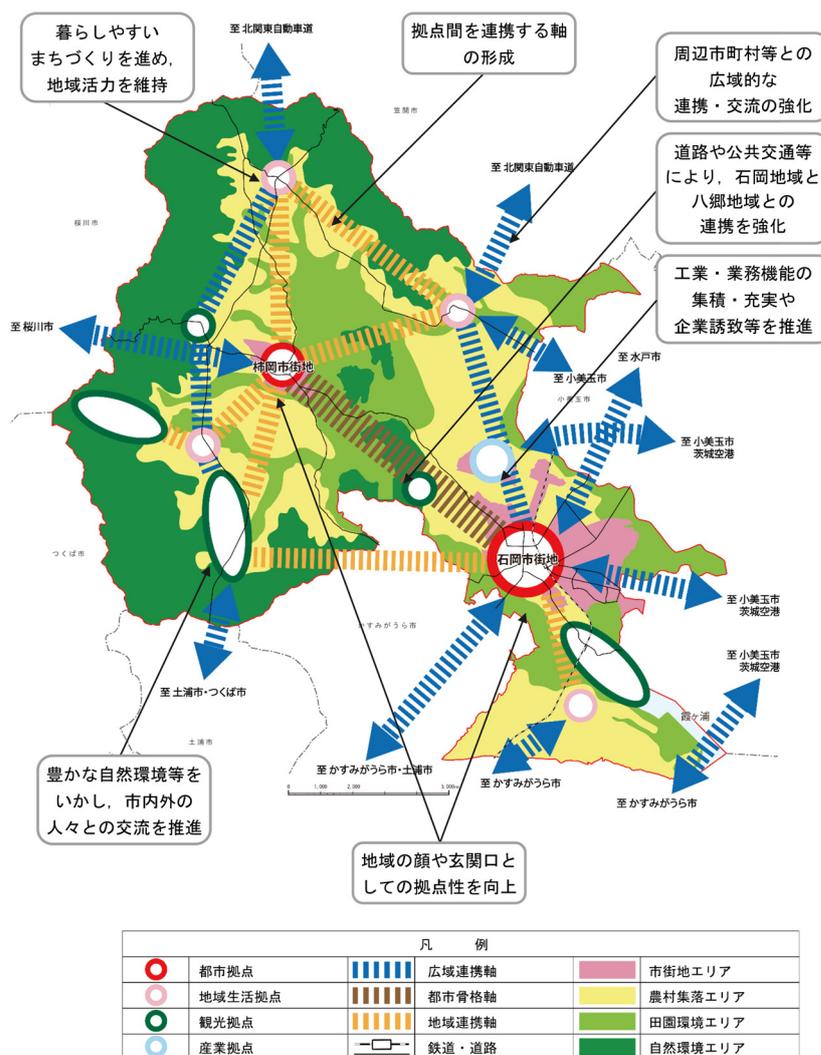
<都市づくりの基本目標>

- ・ 石岡市としての個性・特性をいかしたまちづくり
- ・ 豊かな自然環境、歴史・文化を保全・活用したまちづくり
- ・ 快適で魅力あふれる、安全・安心に生活できるまちづくり
- ・ 地域の活力を創出するまちづくり
- ・ 地球環境にやさしいまちづくり

<将来都市構造>

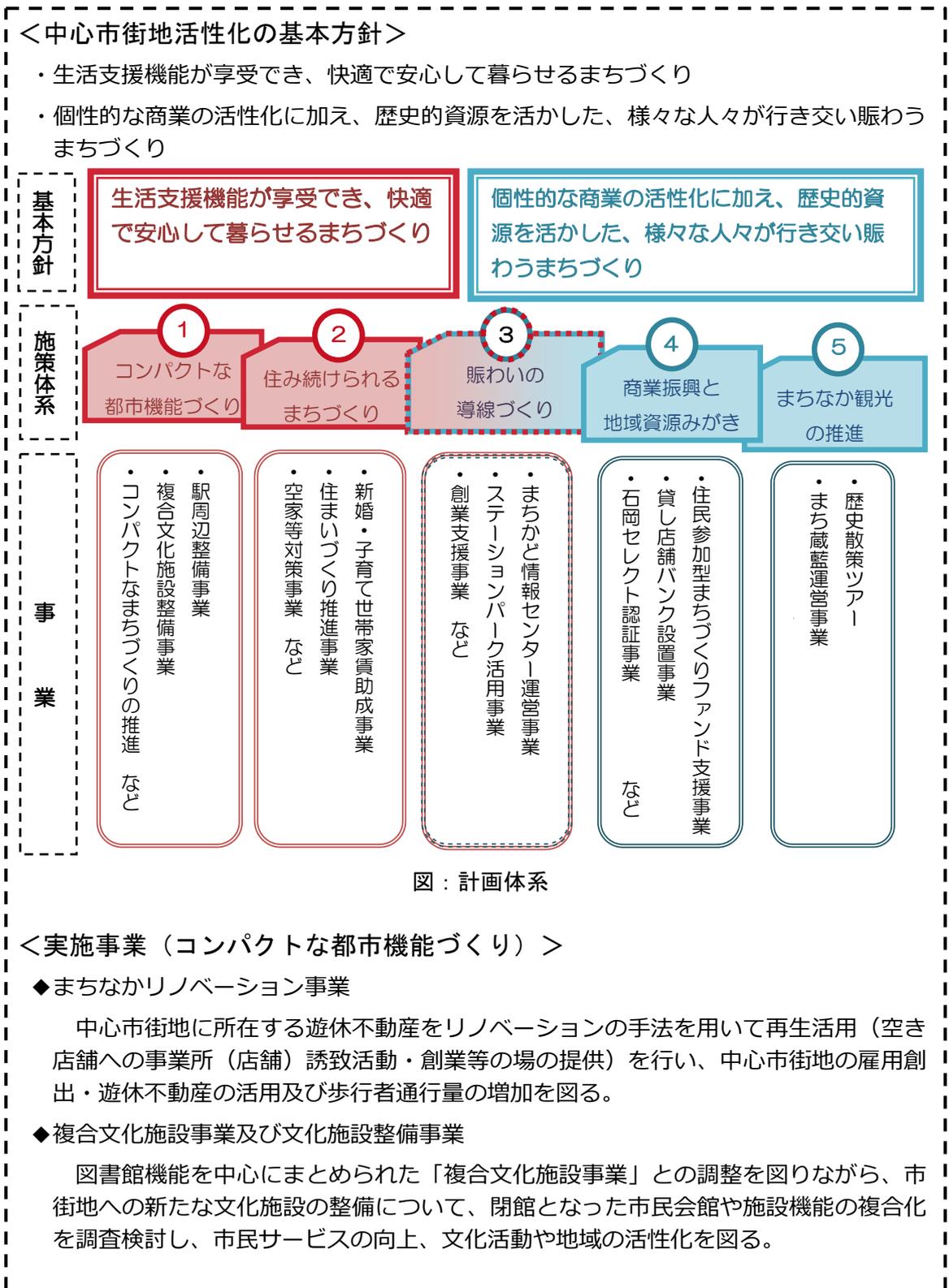
◆多核連携型の都市構造

- ・ 都市機能の集約による拠点性の向上と連携・交流を支えるネットワークの形成
- ・ 自然環境・歴史資源等の保全・活用による都市の魅力・活力向上



図：将来都市構造図

(6) 石岡市中心市街地活性化基本計画（第3期）（2021（令和3）年3月）



(7) 石岡市公共施設等総合管理計画 (2017 (平成 29) 年 3 月)

<基本方針>

◆計画的保全による長寿命化の推進

今後も継続して使用する施設については、これまでの「事後保全」の維持管理だけでなく、長期的な視点で計画的な修繕を行う「予防保全」の考えを取り入れ、定期的な点検や診断結果に基づく計画的な保全を実施し、公共施設等の長寿命化を推進します。

◆施設保有量の最適化

今後の財政状況や人口特性などに見合った適切な施設保有量の検討を行います。これまでの一施設一機能を前提とした「施設重視」の発想から、施設の多機能化や集約化等を検討する「機能重視」の発想へと転換し、施設保有量の最適化を図ります。

◆地区ごとの特性とニーズに応じた施設再編

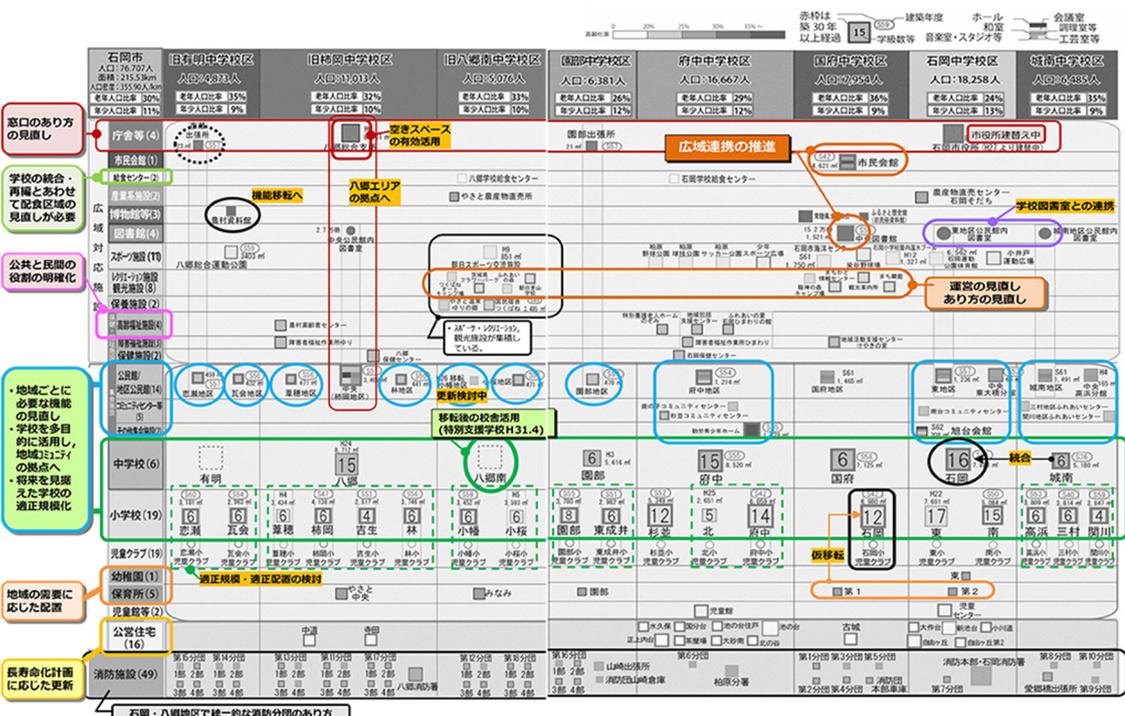
各施設の利用状況や石岡地区・八郷地区の特性を踏まえながら配置の見直しを行うとともに、将来のまちづくりの視点に立った施設や機能の最適配置を進めます。

◆まちづくりと連動したマネジメントの推進

石岡かがやきビジョンの将来目指すまちづくりを見据え、国・県・近隣市町と相互に施設の広域連携を進め、地区ごとの施設の配置状況を考慮したマネジメントを行います。

◆資産の有効活用

遊休資産や公共施設は市民共有の資産であり、維持管理や運営にかかる経費を市民全員が負担していることから、市民のための資産であることを再認識するとともに、「行政経営」の視点を取り入れ、資産の運用を行います。



図：具体的な改善方策

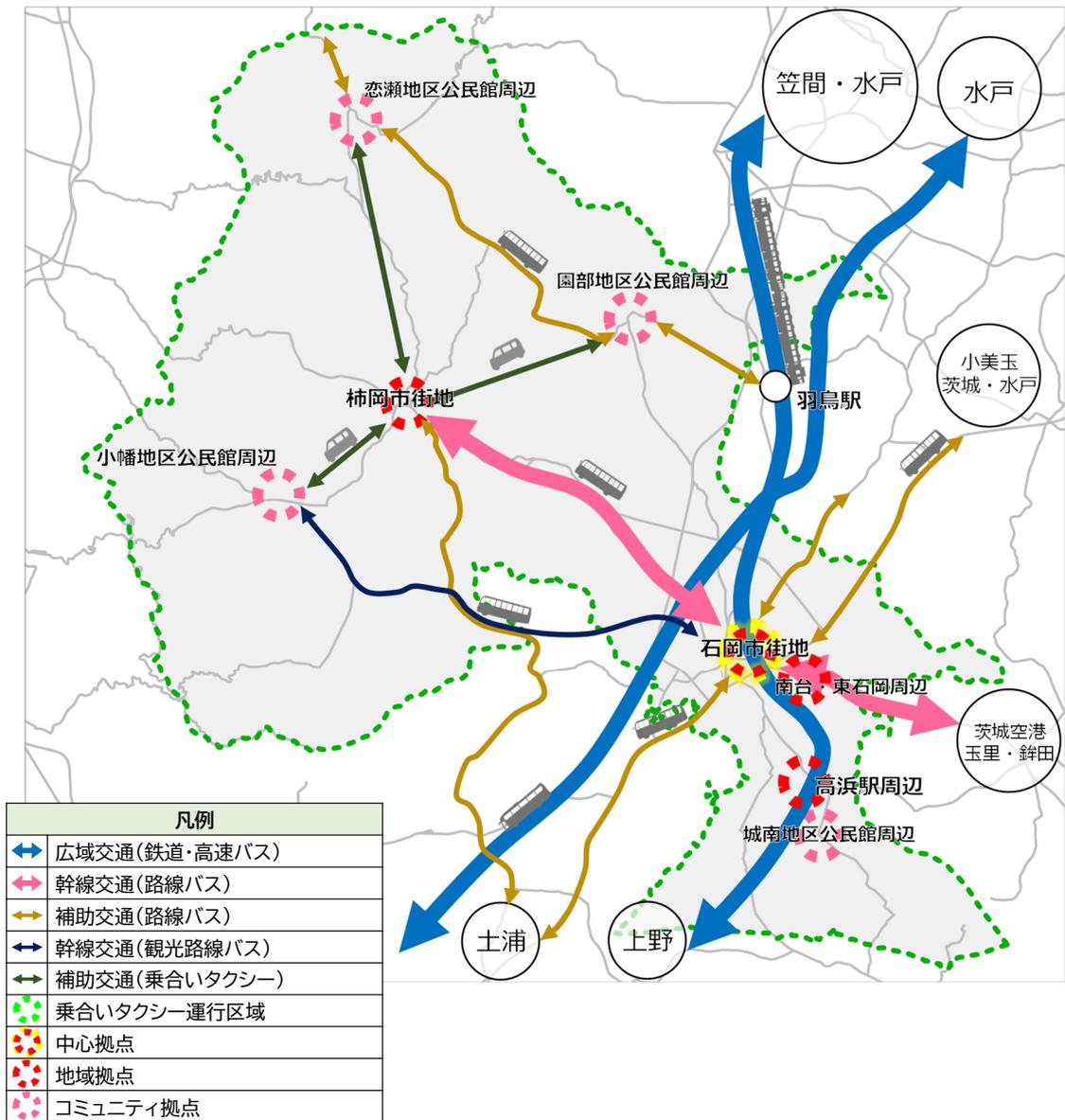
(8) 石岡市地域公共交通計画 (2024 (令和6) 年3月)

<基本理念 (目指すべき将来像)>

- ・市民・利用者のニーズを基に、多様な主体の連携・協働により、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通体系の構築

<基本方針>

- ・多核連携型のコンパクトな都市づくりを支える公共交通
- ・地域の多様な移動ニーズを柔軟に支える公共交通
- ・まちづくり・観光振興等の地域戦略に寄与する公共交通



図：公共交通体系の将来イメージ